広報かじき

№257
昭和51年 10

発行／加治木町
編集／総務課

印刷　吉屋印刷有限会社

涼風に大きく羽ばたけ
スポーツの秋

小雨の中でのタンプリング体操　（加治木中）

■メモ　人口／20,746　男／9,862　女／10,883　世帯／6,669　（51年9月1日現在）

「敬老の日」に祝賀行事

姉弟そろって長寿

町の最高齢者は99歳

最高齢者の湯浅さん

九月十五日の「敬老の日」は、町内の各部落や各地区でも、お年寄りをいたわる行事が催され感謝されました。

町では、これより先の十四日長寿をお祝いして九十歳以上の家を訪問、県からの贈り物や町のお祝い金を贈りました。また、町の婦人会や社会福祉協議会からもお祝いが贈られ喜ばれました。

役場の写友会でも、例年新しく九十歳になられたお年寄りの顔写真を贈っておりますが、今年も長寿を記念して七人のかたがたに額入りの写真を贈り感謝されました。

町の最高齢者は新町の湯浅ハルさん(九九)です。

ハルさんは耳と足が不自由なだけで、いたって健康ということ、この日は着物にきかえて玄関まで出迎え、来訪者のお祝いを終始笑顔でうけられていました。

また、上木田部落の扇園カネチヨさん(九五)は本町の今村セキさん(九五)と共に町内二番目の長寿者です。

カネチヨさんは同じ部落に住む敬老の今西強一さん(九二)とは姉弟でこの日は、二人そろって県や町からのお祝いを受けられ、いかにもうれしそうでした。

お祝品を受けられるカネチヨさん(左)と強一さん姉弟

訪問者を前に強一さんは、姉のカネチヨさんとの昔話しに「若けころはほんのこて、お菓子や食うもんのこっでようけんかしたもんや、今はわれこっごわんさあー」と若いころの想い出話しに花がさき、県知事、町長代理で訪れたみなさんは、いつまでも話したい気持ちに後ろ髪を引かれながら次の訪問先へ……

町内には八十歳以上の方が三百三十八人(うち八十歳代三百十五人)います。この方々にも町では長寿を祝い敬意と感謝を表わすため、八十歳から八十四歳の方に四千円、八十五歳から八十九歳の方に七千円を贈りました。

わたしたちは、こういった敬老の日たけに長寿を祝うだけでなく常日ごろからお年寄りをいたわり多年社会につくしてこられた功績に感謝し、これからの生活を楽しくすごしていただくために、今後ますます老人福祉について考えていかなければならないと思います。

九十歳以上の方々は次のとおりです。いつまでも達者で長生きしてもらいたいものです。

九十九歳…湯浅ハル(新町)
九十五歳…今村セキ(蒲生田)
扇園カネチヨ(上木田)
九十三歳…川原イト(端山)岩下ツタ(岩原西)
九十二歳…吉田タツノ(港町)渡辺キク(萩原)矢野エイ(西諏訪)上村フク(吉原)
九十一歳…中山サカエ(垂之口)花牟礼シヲミツ(井手向)市来原ケサミツ(市来原)岡山ミ子(西汐入上)高山セイ(岩原西)今西強一(上木田)前畠半左衛門(下嶽)
九十歳…大迫ハル(端山)川添ヨシ(下浜)金澤清次(江湖)岩間ハル(萩原)今薗イセチヨ(西反土後)隈原ナツ(隈原上)榎谷イロ(隈原上)

家族ぐるみのグループ

『十五日会』で意気投合

「オイタッモ一つ、世間におくれんよう一か月一回、集まって世間話しをすかい」と、一年前から気の合った中年同士で始まったグループが、奉仕作業や家庭サービスなどを行い、部落民から喜ばれています。

このグループは町内、川内部落の「十五日会」(会員東木重夫さんら八人)で、毎月、月半ばに会員宅に集まって焼ちゅうをくみ交わしながら、いろんな話し(例えば農作業や部落内のこと、家庭や仕事のことなどについて)をしながら親睦をはかっていこうというもの。

十五日会は、みんなが会長でもあり会員でもある。八月には道路のやぶ払いや、部落内にあるお墓の入口をブルで整地して付けかえたり、ホーキやバケツなどを保管するための小屋(鉄骨スレートぶき福元正彦さん(三〇)寄贈)を造り、部落民から感謝されています。

また、ときには家庭サービスとして、家族同伴で車を貸切り、旅行するなどお奥さんや子どもたちからも喜ばれているとのこと。

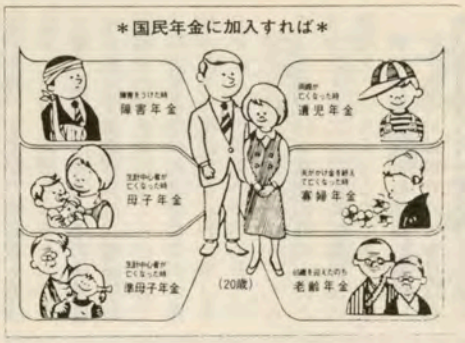
自分本意にしか物事を考えないこの世の中に、家族ぐるみで何かを考え、何かをやろうとハリキッテいる十五日会、ほんとうにうらやましいかぎりです。

これからも大いにがんばってもらいたいものです。世の手本となるように……

墓地に出来た小屋

一部変わった国民年金

厚生年金・共済など通算される



国民年金の一部を改正する法律が、去る五月の国会で決まりましたが、今回の改正は年金額の大幅引き上げと共に、新しい制度もたくさん設けられました。

主な改正点をひろってみましょう。

□きょ出年金関係

きょ出年金の今回の改正は、五年々金・十年々金・障害年金など実際に支給が行われている年金の引き上げに重点がおかれています。その他、障害年金・遺児年金の通算制度の創設、障害年金の廃疾認定日の短縮など、きめ細かな改正もなされています。

なお、実施月は＝年金額の引き上げについては今年の九月から、保険料の改定については五十二年の四月からとなっています。

▼年金額の引き上げ

老齢年金の額を計算する場合、これまで保険料を納付した期間、一月について八百円支給されていたのが千三百円に引き上げられた。

この結果、二十五年加入して付加保険料も納めた場合、夫婦で月額七万五千円となります。

また、加入期間が二十五年未満で支給される老齢年金の加算額の単価が、三百円から五百円に引き上げられ、明治四十四年四月一日以前に生まれた人が受ける通算老齢年金や特例老齢年金も、保険料を納めた期間、一月について千二百円から千九百五十円に引き上げられました。

▼通算制度の創設と廃疾認定日の短縮、

厚生年金や共済組合などから国民年金に移って、すぐ障害者や遺児となった場合、国民年金の加入期間が最低一年以上ないと障害年金や遺児年金を受けることができませんでした。それが今回の改正で、前に加入していた制度の期間と合せて一年以上あれば、これらの年金を受けることができるようになりました。

また、廃疾認定日は、障害年金の受給権の有無を判断するための基準となる日ですが、これまで初診の日から三年目となっていたのが一年六か月目と改められました。

▼保険料の引き上げ

保険料は、これまで千四百円が国民年金の健全な財政を維持するため、今後段階的に引き上げていくことが決められ、さしあたって五十二年四月から二千二百円に引き上げられます。

□福祉年金関係

福祉年金は、昨年大幅な改正が行われたので、今年はきょ出年金とのバランスを図る程度となりました。

しかし、母子（準母子）福祉年金のように、これまで子ども等が義務教育を終了すると失権していたものを、三年計画で十八歳未満にまで引き上げるという嬉しい改正も行われています。

その他、年金の支給制限も、本人の所得制限が年収百五十万円まで引き上げられました。また、恩給などとの併合制限も二十四万円から二十八万円に引き上げられます。

なお、年金額の引き上げは十月一日からとなっています。

案内

職業訓練校

仕事をさがしている皆さん、技能を身につけて就職したいと思いませんか、これはそういう皆さんのために設けられている職業訓練コースです。

■対象者…就職を希望する義務教育修了者（但し新規に中高大学を卒業する見込みの人は除く）

■受講料…無料で教材工具等も無料で貸与。

■申込先…公共職業安定所

■選考…簡単な考査、職業適性検査、面接。

■特典…①雇用保険金を受給している人は、訓練修了まで引き続いて雇用保険基本手当が受けられ、ほかに受講手当が支給されます。

②雇用保険金の支給されない人で、一定の要件を備えた人は訓練手当等が居住地域区分により、月額五二、〇〇〇円から五八、〇〇〇円程度が支給されます。

③交通機関等を利用して訓練校へ通う場合は、最高月額一〇、七五〇円の通所手当が支給されます。

④自宅から通校できない人のため寮の設備があり入寮者には最高月額七、五〇〇円の寄宿手当が支給されます。

訓練職種

科名	訓練期間	入校時期	一回定員
自動車運転科	3か月	4月　7月 10月　1月	30名
ブロック建築科	6か月	4月　10月	30名
洋服科	1　年	4月　10月	15名

第10回 町文化祭開催

共催　町教育委員会　町文化協会

町の文化協会に加入している 31 団体の皆さんが，かねて勉強や練習に励んだ成果を年一回披露し，町民のみなさんに観覧していただこうと町文化祭を開催いたします。

ご家族及び近所の方お誘いあわせのうえご観覧ください。

日時　11月2日(火)午後1時から
11月3日(水)午前9時から

場所　町福祉センター・柁城小学校。

入場　無料

◆農業委員会だより◆

転用申請許可後に売却する場合の取扱い

▽**問**…私は自己所有の農地に貸家を建てたく農地法第四条の許可を得ました。ところが工事に着手しないうち、不動産業者からそこに工場を建てたいと話しがもちかけられたので私は一度許可を取っているので改めて農地法の許可を受ける必要はないと思いますが、私の考え方は認められるものでしょうか。

答…農地の所有者がその所有農地を転用する場合には、農地法第四条の許可を受けることが必要でこの許可を受けたことによって農地が直ちに宅地になるわけではありません。

許可後住宅の建設工事が行われて、その現状が農地以外のものとなったときに、はじめて農地法の適用をうけなくなるのであります。

農地を第三者が転用目的で買いうけ、あるいは借りうけるには農地法第五条の許可を受ける必要があり、この許可を受けずにした売買貸借は無効であるので再度五条の許可を受ける必要があります。

もし無断で転用行為を行った場合、知事が特に必要があると認めたときは工事その他の行為の中止を命じ、または相当の期間を定めて原状回復、その他違法行為を是正するための措置をとるよう命ずることが出来ます。

農事調停の申立てと手数料

▽**問**…隣接地の所有者甲と畑の境界について紛争を生じ、いろいろと話合いましたが相手方は私の主張を聞いてくれません。私も甲も書類などによる証拠はなく解決に困っています。

農業委員会は農地調停を申立てたらよいと言ますが、どうしたらよいか、また、費用はどの位いかかりますか。

答…農事調停については、民事調停法に定められており、調定は裁判のように法律に基づく強制的な解決でなく、当事者の合意によって成立するもので一旦調停が成立すると、それは普通の裁判で得た判決と同じ効力をもちます。

しかも農地の利用関係に関する紛争の調停は耕作者の保護農地の利用増進など国の農業政策と密接な関係があるため、農事調停として一般の調停と異なる取扱いがされ、調停委員会は調停をしようとするときは、小作官または小作主事の意見を聞かなければならないことになっています。

農事調停の申立ては、紛争の対象である農地等の所在地を管轄する地方裁判所（当事者が合意で定める場合は簡易裁判所でもよい）に申立ての趣旨及び紛争の要点を明らかにして行う。

調停申立ては必ずしも書面でなくても、口頭で申立てをすることができる。

■調停手数料

調停の手数料は、調停を求める事項の価格一万円まで六十円。一〇万円までの部分については一万円ごとに六十円という段階があります。

農地についての価額の評価は固定資産税の評価などを基準として行われます。

郵便局より

十月一日で創業六十周年

＝郵便局の簡易保険＝

郵便局の簡易保険は大正五年十月一日から取扱いが始まり、ことしの十月一日で六十周年を迎えます。

この簡易保険は加入者の大切な財産として、地方公共団体をはじめ、公社、公庫、公団などに融資され、住宅や道路、学校、交通機関など、皆様の生活に結びついた身近な生活環境の整備拡充に役立っています。

加治木町にも昭和五十年度中に教育施設や公営住宅、港湾および都市計画事業などに二千八百七十万円が融資利用されています。

このほか、保養センター、診療所などの福祉施設も設置して、加入者の福祉の増進にも努めています。

創業記念日にちなんで、毎年十月を「簡易保険月間」と名付けて全国的に運動が展開されます。

保障のある生活、安心して働けるためにも簡易保険に加入いたしましょう。

また、今年の十月一日に生まれた赤ちゃんには、これを記念してお祝いの品を贈ります。該当される方は加治木郵便局にお申出ください。

簡保で
いつもニコニコ
楽しい家庭

赤い羽根はボランティアのシンボル

羽根いっぱいは 福祉社会のねがいです

たばこは
町内のお店で
買いましょう

話題あれこれ

図書館に図書を寄贈
桑幡さんと宇都宮さん

町内、柳田部落の桑幡元長さん(七一)は「都市の論理」「読心術」など六十冊もの図書を町立図書館に寄贈されました。

また、東京都練馬区に住んでいる宇都宮直賢さん(七八)加治木町出身は、自分で出版した本「回想の山下裁判」と英語が得意なことから翻訳出版した「コンバット」など新書九冊を同じく同図書館に郵送されてきた。町立図書館では、このような突然の贈物に感謝しています。ご寄贈ありがとうございます。

町青年団が敬老訪問
望岳園のお年寄りを

町青年団連絡協議会（隈原孝二会長団員六十人）は、九月十五日「敬老の日」に同町の特別養護老人ホーム（望岳園）を訪問、長寿のお祝いに歌と踊りをサービスひとときを楽しんでもらいました。

団員全員で町民歌をうたえば、会場からも手拍子といっしょにお年寄りたちも合唱。また希望曲をとれば軍歌を要望、若い青年団たちは何んとかまがりなりにも歌い終わりほっとする。拍手カッサイ踊りもオハラ節からハンヤ節とこれらが出ると、後の方では身ぶり手ぶりの友情出演。一時間半におよぶ熱演に、お年寄りたちはよい「敬老の日」でしたとたいへんよろこんでいました。

花木を植えて
先輩をしのぶ

町竜門句会（横山清志会長）は網掛川児童公園に建立されている郷土の俳人、故牧笛郎先生の句碑の周囲をきれいにしようと、九月十八日それぞれ持ち寄った花木を植え清掃作業をしました。

同竜門句会は牧笛郎先生らが中心になって終戦後結成されたもので、当時先生は新聞社の記者をつとめるかたわら、歌人、俳人としても活躍された。

児童公園の句碑には「柳はしまた桜はし　春の水」と刻まれています。この句碑の周囲に野草などがはえていたため今回お彼岸を前に清掃したもの。またこれに先立って句碑工事をした建設業、市来仙さん(五九)も、この日無料で補修工事に協力された。

植えられた花木はヒメクチナシツツジ、ラン、ヤツデなど三十本。句会の皆さんごくろうさんでした。

電話交換応対競技
渡辺さんが優勝

第三回電話交換応対コンテスト姶良地区大会が九月十七日、港町にある加治木電報電話局ラインマンセンターで行われ、姶良地区内の十事業所から参加した交換嬢十三人が、交換者としての応対ぶりを競いました。

会場には、各事業所や見学者など約三十人がつめかけ、五人の審査員によって「敏速、公平、親切」であるかなど厳正な採点がなされ、次の方々が入賞しました。

■応答の部…①渡辺悦子（南九州コカコーラ）②河山由美子（京都セラミック）③福永照子（ホテル林田温泉）森　千代（同）

■電話帳早引の部…①渡辺悦子（南九州コカコーラ）②内村恵美子（加治木町役場）③浜田真知子（国分実業高校）

『からいも学級』
一回目の堀り取り

社会教育の一環として始められている『からいも学級』（学級員四十家族）が、このほど第一回の堀り取りを行いました。

各家族は、与えられた三・三平方㍍ずつの一部を堀ったが丹精こめてつくっただけあって、こぶし大のからいもがたくさん取れ、どの家族も満足そうでした。

このからいも学級は昨年に引きつづき今年で二年目を迎えたが、家族ぐるみで楽しめるとあってなかなかの好評です。次の収穫を楽しみに……

町連合婦人会 施設の研修視察

（婦人会だより）

■施設の研修視察

八月二十六日、県民バスを利用して消費生活センター、綜合体育センター、農山漁家生活センター鹿児島臨海工業地帯など研修視察しました。

■消費生活センター…県民の消費生活の安定向上をはかる。子供のおやつ（食品の安全性）についての映画を見て研修しました。

■綜合体育センター…昭和四十九年四月県民の体育、スポーツ、レクリエーションの振興をはかるために設置されたもの。この日はお年寄りのゲートボールや剣道、柔道婦人会のバレーボールなど行われていました。

■農山漁家生活近代化センター…昭和38年3月生活の近代化、能率化に必要な技術実習のために建てられました。見学の日も串木野の婦人会が研修しておられました。

■鹿児島臨海工業地帯…十二年前から工業地帯づくりが始められ、二号～四号用地は完成、一号用地も現在建設途中で造船所、機械金属、住宅産業などに利用。規模の大きいことと谷山の変りようにはびっくりしました。

古紙回収

資源を大切に、また、町の中央公民館の設立基金づくりをめざしてやっています。県の婦人会館も古紙回収により出来たと聞いております。

会員皆様のお出し下さいました善意の古紙「塵も積れば山となる」いつの日かお役に立つ事でございましょう。八月の暑い時ご苦労さまでした。ご協力感謝いたします。

廃品回収

日本は資源の乏しい国だといいながら「消費は美徳」などと使い捨てを奨励される事に抵抗を感じていました。

石油ショック以来「節約は美徳」と物や資源を大切にするようになり嬉しく思っております。全国の生活学校でも再利用という事を考えるようになりました。古紙、洋酒やカルピスの空瓶、ガラス、鉄くず、カンなどが再利用されるようになり、ごみが減量されてきているそうです。会員の皆様廃品回収ごくろうさまでした。

今後、ますます物価上昇の時、水、ガス、電気、電話など身近なところから節約して物や資源を大切にいたしましょう。

おむつ一枚運動

会員の方々が縫って下さいましたおむつを、南九州病院とオレンジ学園にさし上げました。

同病院では「何よりもいいものをもらって助かりました」と喜んでくださいました。会員の皆さんありがとうございました。

結核予防婦人会連絡協議会総会

加治木保健所管内の結核予防婦人連絡協議会総会が、九月七日町福祉センターで開催されました。

なくそう結核、うけよう検診、結核の根絶は婦人の手でをモットーにいろいろ協議されました。

加治木保健所長の講演では、①健康の確保②環境衛生③衛生思想の普及など強調されました。以下内容についてひろって見ます。

■乳児の死亡は昭和二十五年頃まで多い、現在は少なくなった。

■日本は伝染病で死ぬ人が多い、とくに赤痢、腸チフスは文明国にはない。

■十人の中六人半は成人病。成人病は日常の生活の中から生まれる糖尿病は終戦の頃にはなかった。

■昭和二十七年頃までは結核がトップ、現在は①脳卒中②ガン③心臓病④不慮の事故。

■よりよい健康体をつくること。

■肉体と精神（心）と社会性の調和。

■精神面の健康な人が長生きする。

竜門句会

戦犯の記録読む夜の流れ星　曽木　柳田

ひとときの篠つく雨や藤は実に　横山　江南

身繕ふ鳩あり寺に今朝の秋　松下　松風

風立つや門扉はばみて萩の花　井之上透山

秋簾掛けしままにて喪に籠る　伊丹　司朧

束の間も惜しと晩夏の夕燕　鶴田　耕

怨りごと葡萄の種子を飛ばす午後　塩満　篤夫

秋光や斜に句碑は影落とす　中山　待香

月浴びて醫師来給へり神の如し　松永　愛子

小じゅ鶏も鳴きやみにけり秋の暮　林　玄洋

句碑の石軍靴に似たる音や秋　宮脇　國吉

谷川や桜紅葉の流れ初む　恒吉　斗南

馬追に調子合せて眠り堕つ　田代　俊泉

文化財めぐり

融峯寺（万年山）

木田新中部落にあって、曹洞宗長年寺の末寺で、長年寺六代融峯祝大和尚が万治二年正月、今から三百十七年前に建立したものである。

鎮守はなく、本尊は観音菩薩で当時の中興は長年寺十代廻山であった。

寺領高十石二斗五升二合八才、このうち池田助右ヱ門が十石を寄進している。

51年度

各地区から選ばれた牛豚六十二頭が参加

町の秋季畜産品評会

つぶぞろいに審査員も汗だく

五十一年度町の畜産品評会は、酷暑が去ったとは言え、まだまだ暑さを感じる九月四日午前八時から旧種馬所跡で行われ、各大字から選ばれた肉用牛三十六頭、肉牛十四頭、種豚十二頭が出場、容姿体重など慎重に審査が行われました。

表彰式にはいり、各部門ごとに賞状と賞品が授与され、団体では肉用牛の部で小山田地区、肉牛で木田地区、種豚の部で小山田地区がそれぞれ優勝しました。

なおこの品評会は郡の予選をも兼ねているものです。

各部の入賞者は次のとおりです。

▽肉用牛一部

優等＝内村白夫（小山田）永元初男（西別府）市野親義（小山田）日高一夫（小山田）

一等＝桃木野正男（西別府）末吉きみえ（小山田）小宮路勇（辺川）内村一男（反土）柚木喬（小山田）犬童武男（日木山）

二等＝内村一男（反土）犬童武男（日木山）市来原秀義（小山田）大園ケサギク（辺川）大園隼人（辺川）

▽肉用牛二部

優等＝有馬義則（木田）岩穴口秋夫（小山田）内村静哉（西別府）新福重雄（反土）

一等＝小宮路澄男（辺川）末吉満也（小山田）穂森保（木田）扇園敬次（木田）渋谷辰夫（小山田）穂森親志（木田）

二等＝小宮路山助（辺川）蓬原悟（西別府）鷲正男（西別府）外村秋男（西別府）

▽肉用牛三部

優等＝福森清美（西別府）日高辰志（小山田）

一等＝穂満茂（木田）内村敏幸（西別府）福森信夫（西別府）

二等＝江口深志（木田）江口昇（木田）

▽肉牛去勢の部

優等＝市野親義（小山田）穂満三郎（木田）

一等＝穂満茂（木田）笹峰勝一（反土）田丸孝男（木田）

▽肉牛理想の部

優等＝下楠園正昭（木田）

一等＝下楠園正昭（〃）

▽肉牛牡牛の部

優等＝増田新（木田）

一等＝吉村次男（木田）

▽肉牛めすの部

優等＝市野親義（小山田）江口君江（木田）

一等＝内村幸夫（小山田）高崎清（小山田）井上福井（小山田）

▽種豚パークの部

優等＝末吉きみ子（小山田）

一等＝下小牧重雄（〃）

▽種豚ランドレースの部

優等＝柚木成人（反土）犬童弘（小山田）

一等＝柚木成人（反土）犬童弘（小山田）河越鉄三郎（小山田）堀之内鉄夫（反土）

▽チャンピオン賞

種豚の部…柚木成人（反土）

肉用牛の部…福森清美（西別府）

肉牛の部…市野親義（小山田）

▽大字別成績

肉用牛の部…①小山田②辺川③西別府。

肉牛の部…①木田②小山田。

種豚の部…①小山田②反土。

入賞おめでとうございます。

【講評】

■和牛については各部とも、例年に比べ揃った牛が多く、資質に長足の進歩が見られた。また、肢蹄の弱いもの助張の不十分なもの、資質特に毛質に難のあるものが散見された。

飼養管理として…①運動、日光浴を十分に行うこと②粗飼料を主体に飽食させ助張を良くすること。

③導入牛の系統を吟味して質のよいものを入れる④子取牛では質と種牡牛の配合を考慮する⑤連産性を高めるため過肥にならないよう心掛ける⑥肥育牛は資質体型の良い素牛を導入する。

■豚については、それぞれの品種の特性をそなえた立派なものが多かった。

飼養管理として①肢蹄の丈夫な豚を育てる②食餌と運動を十分にやること③乳器の配例がよく肥り過ぎず体の緊りのあるもの。

郡共進会で加治木町は躍進賞

郡共進会は九月二十四・二十五の両日、隼人町中央家畜市場で開かれた。

本町からは、先に行われた町品評会で選ばれた肉用牛六頭、系統牛二頭、種豚三頭が参加、郡内の町から選抜された百八十頭で品質を競いました。

今年の本町の畜産は、例年にないすばらしいもので、肉用牛においては躍進賞をもらうことができました。

●成績は次のとおりです。

■肉用牛一部…優等＝永元初男（永原）2等＝内村白夫（市来原）

■肉用牛二部…優等＝有馬義則（汐入）岩穴口秋夫（岩之口）2等＝内村静哉（永原）

■肉用牛三部…優等＝福森清美（永原）

■系統牛…優等＝楠元正男（桃木野）有馬義則（汐入）

■種豚パークシャー…優等＝末吉君子（毛上）

■種豚ランドレース…優等＝犬童弘（下東木）

1等＝柚木成人（朝日町）

■系統豚…優等＝柚木成人（朝日町）

団体成績

▽肉用牛の部…①吉松町②加治木町③牧園町④霧島町⑤福山町。

▽種豚の部…①加治木町②溝辺町③隼人町④姶良町⑤福山町。

※**躍進賞**…加治木町（肉用牛の部）隼人町（種豚の部）。

第18回町美展

皆んなで参加
皆んなで観覧

11月12日から14日まで

第十八回加治木町美術展は、十一月十二日から三日間、町福祉センターホールで開かれます。

町民皆さん方の多くさんの作品が出品されますよう、関係者一同期待しております。

とくに一般の方の作品については無審査として、出品された作品は全部展示いたします。

小中高校については、例年どおり審査を行なって展示いたします。

表彰式は十一月十二日午後三時なお特別賞授賞者は個人ごとに、その他は学校別に代表者へ賞状、賞品が授与されますので必ず表彰式に参加ください。

開催日程

■十一月　八日…作品搬入
■同　月　九日…作品審査
■同　月十一日…作品陳列
■同　月十二日…展覧会
■同　月十三日…　〃
■同　月十四日…　〃

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万五千円　井手向　井手向栄蔵（妻シゲ）
一万円　永　原　福森　茂（母サト）
二万円　新　町　加世田静美（夫宗雄）
一万円　向江町　重水　ウラ（夫畩太郎）
一万円　中　野　坂元　文夫（母セイ）
二万円　港　町　白川　貞夫（妻セツ）
一万円　桃木野　桃木野清晴（母ヤヘギク）
三万円　西汐入下宇都宮　隆（母日高ツル）
五万円　辺川中　神園　国義（妻ツマ）
二万円　中福良　岩穴口　操（妻シヅ）
三万円　朝日町　田中　静子（夫市次）
二万円　下新道　前田　耕夫（母キクノ）
二万円　西之表市　栗屋　三郎（二男政弘）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　中汐入　下水流義男（母エイ）

※九月号に漏れておりましたことを深くお詫び申上げます（育英係）

二万円　西之表市栗屋　三郎（二男政弘）
二万円　西汐入下宇都宮　隆（母日高ツル）

▼九月二十日までのご寄付を掲載しました。

回顧録 ⑩

ヨーロッパ時代

曽木隆輝

昭和十六年十二月、日本は英米に対し戦争をしかけた。ドイツ側は大満足で、当時ドイツ中に居た百人足らずの全日本人は大もてだった。

陸海軍武官室を含む大使館員、内務省から重成格氏、大蔵省から四五人、鉄道省、司法省など官庁のほか、三井三菱、日本商船、横浜正金銀行など大会社代表、朝日毎日、同盟などジャーナリスト、文部省の留学生といった人たちで身元はハッキリしているし、地味ではあったろうがドイツ人からも信用されていた。

喫茶店やバー、食堂へ行くとバンドは荒城の月、愛国行進曲とかに変わり、おかげでチップもはずまねばならなかった。

そのころ日本大使館の新築が成って、チャーガルテン公園の近くヒトラーの事務所から五百メートルぐらいの所に引越した。

ドイツには連日のように、日本からの来訪者が多くなった。官庁関係、財界など視察調査にやってきた。

私はこれら応待の方も引き受けざるを得なかった。空港や駅にほとんど毎日出迎えに行って、ホテルの世話や旅行のことまで面倒を見ねばならなかった。今日のような旅行社でもあれば委せられたのだが、毎日日本からきまって傳書使という使者が二人ずつ、日本の外務省からやってきた。

その中の一人は本省員でなく陸海軍人などだったが、極寒の深夜駅のプラットホームに何時につくかわからぬ列車を待つのは、涙が出るほどつらかった。

かつての改造社の山本実彦さんもやってきた。外国語は不得手だったので、私の家へ居てもらった。ところが昼も夜も役所の私へ電話がきて、もういいかげんに帰ってこい、食事に連れて行けと子供のようにせがまれるのには弱った。

話は前にもどるが、私たち赴任の時乗った照国丸は、私たちが下船したあと、ロンドンへ向いその外港ハーリッチ近くで、機雷にふれて沈んだ。

例の三井君がロンドンへ行った際、同地の日本大使館で、私が朝日新聞に送ったベルリン便りの中に、三井君がナポリで下船して助ったのは、三井君のお父さんが、神田のニコライ堂の牧師さんで、息子の一途安泰を祈られたお陰だろうというのがあると見せられた、三井君は回想録に書いている。私はそんな記事を送ったか覚えていない。

十月の在宅医

3日　池田医院　②二二二〇
10日　岩崎医院　②二三一五
11日　大川医院　②二〇三二
16日　神田橋医院　②二〇二四
17日　大井病院　②二二九一
24日　上妻医院　②二四二一
31日　平山医院　②二四六八

▽…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。
▽…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください

今月の納期 町民税 固定資産税（3期）